

京浜河川事務所の減災に向けた更なる取組 (防災教育の推進)

小学生を対象とした水防災教育の実施(本年度の取組)

【川崎市立上丸子小学校における出前講座(前期)の実施】

実施日時: 令和3年7月8日 9:20~10:10
 実施場所: 多摩川河川敷
 対象児童: 小学5年生 約170人(5クラス)

授業内容

1. 多摩川ってどんな川?
2. 川の役割やこう水の時の様子を知ろう
3. こう水を安全に流すための取組
4. 自分の命を守るためにすぐできること



上丸子小学校における国土交通省職員による出前講座(多摩川河川敷にて)

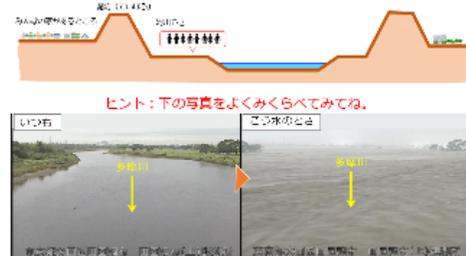
1. 多摩川ってどんな川?

延長は138km。とても急な地形を流れてくつくるので「流れが速く、川の水位が短い時間で上がる川」です。



2. 川の役割やこう水の時の様子を知ろう

■こう水の時、水が流れる場所はどこかな? 線を引いてみよう。



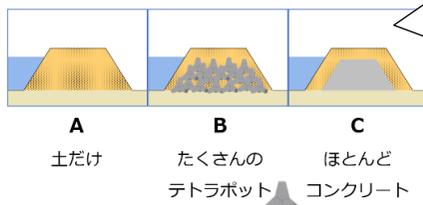
多摩川大雨のときどうなるクイズ



- ◆ 上丸子小学校の浸水深は約2.4m
- ◆ 正解児童は約1割程度

多摩川堤防クイズ!

■堤防は何でできているでしょうか?



A 土だけ
 B たくさんのテトラポット
 C ほとんどコンクリート

- ◆ Aの回答児童は1割弱
- ◆ 堤防が土できているという認識が低い状況

【児童の感想】

- ◆ 河川敷の役割をよく知らずに使っていたけど、今からはしっかりと役割を考えながら使っていきたい。
- ◆ 教えてもらう前までは、そこまで多摩川に思うことはなかったけど、今回の話を聞いて、ごみとか、堤防の話とか、洪水に対する工夫とか、やっぱり向こうの方でも限界があるから、私たちが工夫して被害に遭うことをなくしていけたらいいなと思った。
- ◆ 堤防が土できているということ、多摩川にごみとかがいっぱいあって、川に影響しちゃうから、今度からごみにも気をつけて、多摩川に接していきたい。

ヒント: 材料が手に入れやすく、ひかじりのお金も安く、あつらいやすいものだよ。